



特集

医師と連携し、診療を支援 全診療科の検査を一手に請け負う 中央検査部の役割

中央検査部 係長

俵木 美幸 さん

臨機応変なチーム力で
検査時間を最短に

血液、尿、細菌などを検査する「検体検査」のうち、多くを占めるのが血液と尿検査です。採血室では1日平均300人の採血を行っています、多い日では700～800検体を扱うこともあります。

モットーは、患者さんの待ち時間と医師に結果を報告する時間を可能な限り短くすること。とくに午前中は診察前検査の患者さんがほとんどなので、迅速な結果報告によって診察の待ち時間を減らすことができます。慈恵医大には4病院ありますが、当院の結果報告の早さは群を抜いているといえます。

それを可能にしているのが、柔軟で臨機応変なチームのあり方です。スタッフはそれぞれ専門分野を持っていますが、混んできた際にはそれぞれが率先して採血室へ。無駄な動きは遅れの原因にもなるため、機器の配置など動線に配慮することも時短

につながっています。

採血は「痛みを伴う行為」ですから、患者さんに安心していただける気配りも重要です。たとえばアルコール消毒に弱い方や透析シャントが入っている方などそれぞれの情報はデータ管理されていて、配慮すべき点はすぐにわかるようになっています。また、専門的な用語が多い検査の説明は、わかりやすさを念頭に。少しでも不安やストレスを取り除けるよう業務にあたっています。



中央検査部 主任

安藤 隆 さん

検体から病原菌を特定。
カルテを通じて患者さんを見守る

尿や喀痰などの検体から感染症の原因菌を調べる検査が「微生物検査」です。尿路感染症を引き起こす大腸菌などがわかりやすい例ですが、その他にも非常に多くの病原菌が存在します。

病原菌の特定は、検体を培地に塗布して培養した後、発育したコロニー（菌の集落）を観察して菌種を推定し、そのコロニーを用いて菌の糖分解などの性状を調べて進めます。さらに、その病原菌に対してどのような抗菌薬が効くかを調べる「薬剤感受性試験」も「微生物検査」に含まれます。手作業が多く、専門的な知識と技術が求められる仕事であるため、一連の業務を修得するまでに少なくとも3年はかかります。検査結果は電子カルテを通じて主治医に報告していますが、結果が治療と直結することが大きなやりがいにつながっています。

私たちは直接患者さんと接することは

中央検査部 主任

星野 陽子 さん

患者さんが求めていることを
くみ取った検査を

中央検査部が行う「生理機能検査」は、心電図、脳波、呼吸機能、心臓超音波など多岐に渡ります。いずれも患者さんの体に触れる検査であり、患者さんが何を求めているのかを言葉尻から捉えることを常に心がけています。別居しているご家族や施設の方が付き添われることも多く、彼らとご本人の意思が一致していないケースも少なくないのです。

心電図で心筋梗塞が疑われるなど、緊急の対応が必要と判断される異常な結果値（パニック値）が出た場合は、ただちに担当医に報告する体制も整えています。実は患者さんご自身がまったく気づいていないのに、異常な検査値を示すことは少なくありません。さらに、直近に対応が必要と判断された場合も医師に伝えるなど診察の支援に努めています。



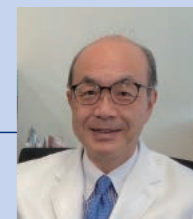
また、心不全の場合は入退院を繰り返される患者さんは珍しくありません。それぞれに事情を抱えているため食生活や生活習慣が再び乱れて体調を崩してしまうのです。当院全体で再入院を減らす取り組みを行っていますが、中央検査部ではCPX（心肺運動負荷試験）を実施し、検査から運動の習慣づけまでのチェックを行っています。検査の技術はもちろんですが、患者さんの意識を高め、サポートしていくことも重要だと考えています。



医療最前線

アトピー性皮膚炎の最新治療

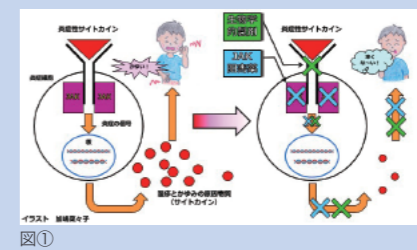
小児科診療部長
勝沼 俊雄



近年まで、子どものアトピー性皮膚炎治療に使える薬はステロイド外用剤とタクロリムス外用剤（商品名：プロトピック®）、保湿剤だけでしたが2018年からアトピー性皮膚炎治療は大きく変化してきました。一つは生物学的製剤の登場です。これは化学的に合成した薬剤でなく、原因分子を標的とした抗体を人工的に生体に作らせた薬剤です（16歳以上が適応）。効果的には目覚ましいのですが、注射剤であることが子どもにはややネックです。副作用として結膜炎が問題になることもあります。

2021年には、JAK（Janus kinase（ヤヌスキナーゼ）の略称）阻害薬の外用剤（2歳以上）と内服薬（12歳以上）が小児で使えるようになりました。アトピー性皮膚炎では炎症性サイトカインという

物質が炎症細胞を刺激していますが、細胞内ではJAK阻害薬がこのJAKを抑えることにより、アトピー性皮膚炎の症状を良くします。生物学的製剤に負けない効果が期待されています。副作用として他のウィルスや細菌に弱くなることがあるので注意が必要です。ここにご紹介した薬剤以外にも有力な新薬が次々と開発され、アトピー性皮膚炎治療は大きな変貌を遂げつつあります。患者さん、ご家族には大いに期待して頂きたいと思います。



	一般名	商品名	対象年齢	用法
ヒト型抗ヒトIL-4/13受容体モノクローナル抗体	デュピルマブ	デュピクセント®	2018年～15歳以上	注射薬 2週毎
JAK 阻害薬	デルゴシチニブ	コレクチム軟膏®	2020年～2歳以上	外用薬
JAK 阻害薬	バリシチニブ	オルミエント®	2020年～15歳以上	内服薬 毎日
JAK 阻害薬	ウパダシチニブ	リンヴォック®	2021年～12歳以上	内服薬 毎日
JAK 阻害薬	アプロシチニブ	サイバインコ®	2021年～12歳以上	内服薬 毎日
PDE4 阻害薬	ジミファミラスト	モイゼルト軟膏®	2022年～2歳以上	外用薬

図②

第3の星

今回は

慢性心不全看護認定看護師



山本 あやの さん

心臓疾患をもつ患者さんを支えるプロフェッショナル

心臓疾患についての専門的な知識を持ってケアにあたることのできる慢性心不全看護認定看護師の資格を持つ山本さん。心不全や心筋梗塞、不整脈など心臓疾患の患者さんとその家族に対する支援を行っています。心臓疾患の再発予防には、食事、運動、内服、体調の把握などたくさんの管理が求められます。「心不全

の患者さんは再入院を繰り返すことも少なくないのですが、すべての管理を患者さんやご家族だけで行うのは大きな負担です」。再発予防のため、患者さんやご家族と一緒に管理方法を考えてサポートするのが山本さんの役割。必要に応じてケアマネジャーや訪問看護師とも連携し、継続支援を行っています。「体調管理だけでなく、精神的なサポートも心がけています」。



この情報

ウソorホント?

Q

体温が高くなければ
熱中症では
ないのですか?

A

高体温でなくても熱中症に陥る場合があります。熱中症とは高温多湿な環境において、体内の水分・電解質バランスが崩れて循環調節や体温調節などの体内の調整機能が破綻し起きる障害のことです。症状としては大量の発汗、気分不快感、倦怠感、めまい、失神、筋肉痛、頭痛、吐き気・嘔吐、虚脱感、意識障害、痙攣、高体温などがみられます。発汗や気分不快感、倦怠感程度の比較的軽い症状でしたら涼しく風通しの良いところに移動してスポーツドリンクなどを摂取して様子を見ることは可能ですが、それ以上の症状が見られる場合は速やかに病院を受診することをお勧めします。

救急部 診療部長 大谷 圭

旬のひと皿

枝豆は「畑の肉」と言われる大豆と同じように、良質なたんぱく質やビタミン類、食物繊維やカルシウム、鉄、さらに大豆には少ないβカロチンやビタミンCも多くの栄養素を含んでいます。また、枝豆に多く含まれるビタミンB1とB2には、糖質や脂質、たんぱく質などを分解してエネルギーに変える効果があり、夏バテの回復にも最適。さらに、今回合わせる赤パプリカには、活性酸素の働きを抑える抗酸化ビタミンが豊富に含まれています。炭水化物、たんぱく質、ビタミン類、食物繊維などをまとめてとれる一品で、夏の暑さを乗り切りましょう。この季節は、冷まして食べるのがおすすめです。



枝豆とパプリカのフリッタータ

- ① ジャガイモは皮付きのまま串がすっと入るまで茹でる(レンジで加熱してもOK)。皮をむいて1.5cm角に切る。パプリカは1cm角に、タマネギは縦に薄切りにする。
- ② ボウルに卵を割り入れて塩を加えて混ぜ、枝豆、パプリカを加える。
- ③ フライパンを強火にかけ、オリーブオイルを入れてタマネギをさっと炒める。ジャガイモと②を入れて大きめに混ぜ、固まってきたら弱火にして7分。皿をかぶせて裏返し、フライパンに戻し入れて5分ほど焼く。
- ④ 両面が焼けたら皿に移し、粗熱が取れてから切り分けて盛り付ける。

今回の 2022 SUMMER

食材



枝豆

パプリカ

Recipe (4人分)

栄養素(4人分)
エネルギー203kcal/たんぱく質11.1g/脂質12.0g/
炭水化物12.4g/食物繊維総量3.3g/食塩相当量0.6g

枝豆	400g	(茹でてサヤから出したもの1/2カップ200g)
ジャガイモ	1個	
パプリカ(赤)	1/4個	
タマネギ	1/2個	
卵	3個	
塩	小さじ1/4	
オリーブオイル	大さじ2	

レシピ作成・監修:第三病院栄養部監修 管理栄養士 友野 義晴

患者さんの声にお答えします！

患者さんから寄せられたご質問やご要望をご紹介します。当院の取り組みについてご説明します。

VOICE 1

入退院用のカートの場所がわかりづらいです。

当院の取り組み

入退院窓口に向かって左側のAEDが設置されている柱と、入退院窓口前の精算機横の柱の2か所にカートのご案内に関するポスターを設置いたしました。ご意見いただき誠にありがとうございました。



VOICE 2

麻酔が初めてで、手術当日はとても緊張していましたが、病院のスタッフが「どうですか」と声をかけて下さったり、麻酔をするときに怖がっている私の手を握って下さったり、心のこもった対応をさせていただき本当に心強かったです。



来院される患者さんは、どなたも何かしらの不安を抱えていらっしゃいます。スタッフ一同、それぞれの専門分野で、できるだけ患者さんの不安が軽くなるよう、努力して参りたいと考えております。



東京慈恵会医科大学附属 第三病院

〒201-8601 東京都狛江市和泉本町4丁目11-1

〈受付時間〉8:00-11:30 〈診療時間〉8:45～

〈休診日〉日曜・祝日、大学記念日(5/1、10月第2土曜)、年末年始(12/29～1/3)

上記以外の休診日につきましては当院ホームページをご確認ください。

〈お問い合わせ〉03-3480-1151(大代表)、http://www.jikei.ac.jp/hospital/daisan/index.html

発行:東京慈恵会医科大学附属第三病院広報委員会

慈恵第三病院と患者さんをつなぐ情報誌

TOMONI

と も に

2022 SUMMER

vol. 10

特集

医師と連携し、診療を支援

全診療科の検査を
一手に請け負う

中央検査部の役割

医療最前線

TOPICS



作:第三病院栄養部

夏野菜のパワーで元気をチャージ！

食欲が落ちやすいこの季節こそ、栄養はしっかりとりたいもの。そんなときは、夏野菜を使ったイタリア風オムレツはいかが？赤、青、黄の美しい彩りは食欲をそそるだけでなく、バランスが取れた栄養素の証。冷まして食べるとおいしく、夏の栄養不足の解消や夏バテ回復にぴったりです。

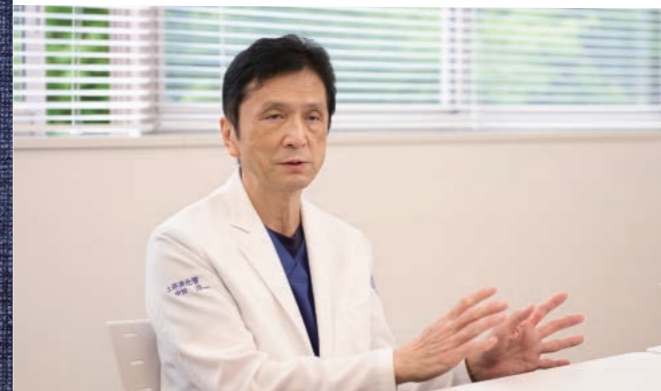
empathy based medicine

すべての診療科と密接に関わる中央検査部は
診断、治療には欠かすことができない存在

中央検査部 診療部長 中田 浩二



中央検査部は、各診療科からオーダーされる検査を一括して行っている部門です。かつては問診や診察を行って病気を想定した上で検査するという流れが一般的でしたが、最近は「診察前検査」にも重きが置かれるようになってきました。外来の患者さんが診察前に受ける血液検査もそのひとつで、医師はその検査結果を見ながら診療する方式です。これは病気の早期発見や効率的な診断、治療に結びつきます。より良い診断、治療のためにその基礎となるデータは必要不可欠ですが、可能な限り早く、正確な情報を



臨床医に届けることが我々の使命です。また、検査技術は世界的にどんどん進化しており、保険適用の検査についてはいち早い導入を目指しています。

そして何より、患者さんにとって検査が不安やリスクを伴うものであってはなりません。安心して受けられる検査室をモットーに、十分な感染対策や待ち時間の短縮、高齢者の方に寄り添った対応にも力を注いでいます。



「大学病院は1日仕事」という概念を払拭する
正確かつスピーディーな検査を

中央検査部 技師長 阿部 正樹

中央検査部で実施する検査は血液、尿、細菌などを検査する「検体検査」と心電図、脳波、呼吸機能、心臓超音波などの「生理機能検査」の2つに分けられます。うち、「生体検査」では約1,000項目、「生理機能検査」では約30項目の検査を取り扱っています。加えて、新型コロナウイルス抗原定量検査や遺伝子検査を安定稼働することで、救急医療にも24時間体制で貢献できるようになりました。

「大学病院は1日仕事」とよく言われますが、当院はスピーディーな検査に強いこだわりをもってしています。たとえば外来採血の待ち時間は平均9分を実現し、生化学検査では結果は約35分で臨床の現場に届けることが可能です。

また、各種資格認定試験や学会での発表、論文投稿などにも積極的に取り組んでいます。私たち臨床検査技師のレベルアップがより良い診察の支援に、ひいては質の高い医療を患者さんに提供することにつながると考えているからです。

日本では高齢化が進み、当院もその例外ではありません。ご高齢の方々の検査時のサポートも当院の特色です。検査相談窓口も開設していますので、不安な方は気軽にお声かけください。



The Jikei University